

2022年10月27日
株式会社チェンジ
(コード番号：3962 東証プライム)

チェンジ、若手社員の成長プラットフォーム「KaWaL」の新サービス
「KaWaL 診断」シリーズの提供開始 第一弾として社会人基礎力の客観診断ツールの申込をスタート
～ 若手社員の社会人基礎力と成長の軌跡が見える化し、効果的な人材育成を支援 ～

株式会社チェンジ（本社：東京都港区、代表取締役兼執行役員社長：福留 大士、以下 チェンジ）は、本日10月27日より若手の成長プラットフォーム「KaWaL」の新サービスとなる「KaWaL 診断」シリーズの申し込みを開始します。第一弾として社会人基礎力の客観診断ツールを提供します。

新サービス URL：<https://www.change-jp.com/LX/diag/kawal.html>

「KaWaL 診断」は、育成の効果をデータ可視化できる診断ツールです。特に、新卒採用者の1年の基礎力を診断するのに効果的なサービスです。新入社員の内定から入社、採用から1年目終了時など、定点で行動基準による診断を行うことで、基礎力を主観ではなく客観的なデータで見える化します。診断結果から自身の強みや弱み、また成長課題が理解できるだけでなく、上司との認識ギャップなどを分析・把握できるため、効果的な若手社員の人材育成が期待できます。

<「KaWaL 診断」の5つの特長>

1) 本人と上司の双方の目線で診断：

本人だけでなく、上司（育成担当者）も対象者に対する診断を行うため、双方の結果が見える化されることで客観的な自己分析ができ、伸ばすべき能力が明確になります。また、上司と本人の認識のギャップが明らかになり、効果的な1on1の実施や人事評価の納得度を高めることにも繋がります。

2) 本人の主観に依らない設問設計：

KaWaL 診断は、行動基準評定尺度（BARS：Behaviorally Anchored Rating Scales）に合った設問により、「アンケートタイプ」であっても、診断の尺度が具体的な行動基準に紐づきます。これにより、本人の主観に依らない診断を実現します。

3) 同業界と自社との比較ができる：

業界の平均と本人および上司（育成担当者）の評価を比較することで、同業界における本人の立ち位置が客観的に把握できます。これにより、強み・弱みが明確になり、伸ばすべき能力が見えてきます。

4) 過去の自分と比較できるため成長が可視化できる :

育成の PDCA サイクルが適切に回っているかを把握するには、過去と現在の診断結果・差分をデータで示すことが不可欠です。これにより、「伸ばすべき能力が身についているのか」を定期的にチェックし、複数回の診断結果が一つの成績表で確認することができるため、次のアクションに繋げることができます。

5) KaWaL シリーズと一緒に利用することで評価 + 育成も可能に :

KaWaL は、社会人に必要なビジネスの基礎スキルを厳選し、短時間で習得することができる教育プログラムです。「KaWaL 診断」と併用することで、学びが実践力に繋がっているかを可視化することが可能です。

政府は「新しい資本主義」における成長戦略において、人的資本投資を重点に置き、3年間で4千億円を人材に投じる計画です。昨今、企業においても、競争力向上の源泉として従業員へのスキル向上や能力開発などに対する積極的な人的資本への投資が広がっています。また、個人においても、リスキングといった分野のニーズが高まり、自ら学び、キャリアアップを目指す人材も増えています。KaWaL は、企業の人材育成および個人のリスキング分野におけるニーズに対応するため、自社にあった独自の教育プログラムをサブスクリプション型で安価に提供します。

チェンジは、日本の労働人口の減少を背景にした企業の生産性革新を支えるべく「Change People, Change Business, Change Japan」というミッションを掲げて、企業の「人や組織」の変革を支援しています。人材育成や教育訓練においては、15年以上の実績があり、これまで300社を超える企業にサービスを提供し、特に新入社員や若手研修に力を入れてきました。

今後もチェンジは、ビジネスの中心となる人材の成長を支援することで、企業の業務効率化やビジネスモデルの変革に加えて、ビジネススキルの格差をなくし、すべての人がビジネスシーンで活躍できる社会の実現を目指してまいります。

■ KaWaL (カワル) とは

「KaWaL」は、「ワカル」から「カワル」をコンセプトに、社会人に必要なビジネスの基礎スキルを厳選し、短時間で習得することができる教育プログラムです。“課題に取り組むことによって人の学びは生まれる”というコンセプトのもとに受信一辺倒の学習スタイルではなく、受講者が成果物を作成・反復できる仕掛けを組み込んだ学習を提供します。

サービス URL : <https://www.change-jp.com/LX/lp/kawal.html>

■ 株式会社チェンジ

チェンジは、「Change People、Change Business、Change Japan」をミッションに掲げ、「生産性を CHANGE する」というビジョンのもと、デジタル人材の育成支援や業務プロセスの革新及びデジタル化を担う NEW-IT トランスフォーメーション事業、NEW-IT トランスフォーメーション事業と相乗効果のある事業への投資を通じ、新事業の創出やビジネスモデル構築を担う投資事業、DX による地方創生の推進をミッションとするパブリック事業の 3 つの事業を柱として推進・拡大しています。

■ 商標について

記載されている製品やサービス名などの固有名詞は、当社の商標または登録商標です。

本件の問い合わせ先：

株式会社チェンジ 広報担当 宗形

メールアドレス：shin_munakata@change-jp.com